

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してらせるための保健医療施策を充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	支えあうまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	居宅介護等の利用時間数(時間)	a	b	176,719	185,378	194,563	95.3%	b	1.00
2	グループホーム等の利用者数(人)	a	a	748	772	748	103.2%	a	1.00
3	自立支援医療の受給者数(人)	a	c	31,367	35,744	33,574	106.5%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答						評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	c	c	25 6.0%	105 25.3%	194 46.7%	63 15.2%	28 6.7%	415	c
2		-	-							-
3		-	-							-
4		-	-							-
5	-	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					28年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・障害のあるひとの在宅生活を支える福祉サービスの利用時間数・利用者数は増加しているが、「どちらとも言えない」の回答が4割を超えていることから、障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解が十分に広がっていないことが考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	重度心身障害者医療費支給事業	2,420,840	2,459,258	良い	保健福祉局
2	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	16,620	17,968	良い	保健福祉局
3	発達障害者支援センター運営事業	81,585	81,451	良い	保健福祉局
4	心身障害児(者)訪問療育指導事業	11,618	11,847	普通	保健福祉局
5	在宅心身障害児(者)療育支援事業	26,286	26,031	良い	保健福祉局
6	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	48,599	49,536	良い	子ども若者はぐくみ局
7	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	14,891	15,008	良い	保健福祉局
8	介護従業者研修	1,755	1,926	普通	保健福祉局
9	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	301,354	278,072	普通	保健福祉局
10	京都国際社会福祉センター運営補助	1,948	1,936	良い	保健福祉局
11	身体障害者福祉会館運営	102,181	97,293	普通	保健福祉局
12	京都ライトハウス運営助成	130,702	130,702	普通	保健福祉局
13	身体障害者療護施設運営費給付	35,704	27,040	良い	保健福祉局
14	盲人ホーム運営助成	8,095	8,099	良い	保健福祉局
15	民間障害福祉施設運営助成	350,782	353,548	良い	保健福祉局
16	児童療育センター運営事業	18,411	17,699	悪い	子ども若者はぐくみ局
17	精神科救急医療システム	103,238	90,903	良い	保健福祉局
18	地域精神保健福祉対策	10,186	9,819	悪い	保健福祉局
19	精神科病院実地指導・実地審査	10,856	10,191	良い	保健福祉局
20	障害者地域生活支援センター運営事業	456,833	454,782	良い	保健福祉局
21	京都市障害児タイムケア事業	86,788	83,819	悪い	子ども若者はぐくみ局
22	障害者自立支援医療特別対策	31,448	31,530	良い	保健福祉局
23	発達障害児支援事業	24,197	0	良い	子ども若者はぐくみ局
24	こころのサポート地域活動助成事業	26,114	28,195	良い	保健福祉局
25	あんしん生活緊急サポート事業	9,790	9,389	かなり良い	保健福祉局
26	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	3,259	2,257	良い	子ども若者はぐくみ局
27	児童福祉センター療育事業委託	121,394	120,718	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
28	心身障害児者総合支援事業	1,932	1,692	良い	子ども若者はぐくみ局
29	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	8,656	8,886	悪い	保健福祉局
30	児童発達支援事業所等促進事業	12,716	18,718	普通	子ども若者はぐくみ局
31	重度障害者等利用事業所支援事業	153,035	257,059	普通	保健福祉局
32	地域生活支援拠点運営	18,827	21,264	かなり良い	保健福祉局
33	地域リハビリテーション推進センター	545,133	559,769	かなり良い	保健福祉局
34	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	236,359	248,708		保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホームの設置促進等に努めていく。

・また、サービス利用等に当たって、必要な情報を提供し、自己選択・自己決定が可能となるよう相談支援の環境を整えていく。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進				
-----	------	----------------	--	--	--	--

指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）						
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室			連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1		
-----	-----------	--	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣等）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護等の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	176,719	185,378	8,659時間増	194,563	京都市障害福祉計画を実現するために必要となる時間数の見込み（27年度182,826時間、28年度194,563時間、29年度206,300時間）	95.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		206,300	29年度	89.9%	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	b	b

指標名	グループホーム等の利用者数（人）						
-----	------------------	--	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室			連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1		
-----	-----------	--	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

グループホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：グループホーム等利用者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	748	772	24人増	748	過去3年間の最高値（平成27年度）	103.2%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値が
a：過去最高値以上
b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：748人（平成27年度）
平均値：697人
最低値：645人（平成25年度）

7 評価結果

27	28	29
a	a	a

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進					
指標名	自立支援医療の受給者数（人）						
担当課	障害保健福祉推進室 育成推進課		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1			
1 指標の説明							
自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数							
2 指標の意味							
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：各医療の受給者全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度	
数値	31,367	35,744	4,377人増	33,574	過去4年間の最高値（平成26年度）	106.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	(参考：過去4年の受給者数) 平成24年度：29,353人 平成25年度：30,489人 平成26年度：33,574人 平成27年度：31,367人	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			当該指標については，障害のある方の増加に伴い，医療の受給者数も増加が見込まれることから，過去4年間の数値を基に，最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：33,574人（平成26年度） 平均値：31,196人 最低値：29,353人（平成24年度）		272829 a c a		